

(会議の経過) 第3回宍粟市就学前の教育・保育を推進する委員会会議録

発言者	議題・発言内容
委員	幼保一元化、認定こども園の方向でいくことについては、これまでの会議である程度理解を得られたと思っている。今後もその方向でこの会議を進めていく。
事務局	※就学前教育・保育施設の法的な位置づけ等について資料により説明
委員	「教育のねらい」は法律に基づくものなのか。
事務局	幼稚園教育要領は文部科学大臣の告示、保育所保育指針は厚生労働大臣の告示によるもので、厳密に法律ではない。
委員	教育要領と保育指針で、「安全」が「安心」になっていたりするが間違いか。
事務局	表現が少し違っているだけで、狙いや意味は同じと考えてもらいたい。
委員	教育要領、保育指針ともに法で大臣が定めるとされており、法と同じく拘束力をもつものである。
事務局	※今までの説明等の経緯、市の財政について資料により説明
委員	幼保一元化については分かった。認定こども園は「認定」のみか。
事務局	一定の条件を満たしたものを県知事が認定する制度である。
委員	認定こども園と、保育所・幼稚園はこれからも存続するということか。全部認定こども園になってしまうのか。
事務局	幼稚園、保育所の機能の両方を持ち合わせたものが認定こども園。1つの施設になれば、公立がやってきた教育のノウハウを認定こども園が備えていないといけない。今の幼稚園の4、5歳児は、認定こども園の4、5歳児になる。
委員	保育所では幼児教育ができていないからという話のようだが、理事会に理事として市の職員が入ったり、運営協議会の関わり方などどうかなあと思う。今保育所でも幼児教育をやっているが、保護者が納得しないからという話。保育所の保育士もほとんどが幼稚園教諭免許をもっているのになぜか。
委員	なぜ民間に委託するのが課題だろう。資料を見ると市の負担が少なく、それぐらいしか違いが分からないが、これが委託する原因か。山崎の説明会では民間委託の話は聞いていない。公教育の放棄だと感じる。
委員	事務局の説明は千種では何度も聞いたが、なぜ民なのかは納得していない。親が長時間預かってもらえるのが民間活力だと言われたが本当にそうなのか。千種はノーを出したと思う。公の丸投げと感じる。
事務局	就学前の教育・保育は公の責任であると法でも定められている。良質な教育・保育を担保してもらえるものとして将来の財政負担も考慮し、社会福祉法人等を担い手と考えた。できないことをやってもらうのではなく、どうやったらできるのかの仕組みをつくり、そのことについて市は幅広く責任を持っていく。決して公の教育の放棄という意味ではない。
委員	平成21年8月の推進計画は変わらないということか。
事務局	基本的な考え方は変わらない。仕組みや指針をつくっていかうということ。
委員	良質な教育・保育の担保と言われるが、現場の幼稚園の先生たちの意見は？
委員	少人数の幼稚園の現状をみると、適切な集団規模は必要と感じる。幼稚園教諭の派遣という提案があるが、短期間で新たな認定こども園で実現できるかどうか、もっと研修なりの期間が必要と感じる。
委員	現状、市内で約50%は幼稚園を選んで通っている。認定こども園の流れは理解できるが、私立にくらべて公立は支援の必要な児童を受け入れているなど、課

委員	<p>題はあり、いろんなことがうまくいく仕組みづくりが必要。</p> <p>公の役割はすべての子どもたちのこと。しっかり議論していかないといけない。</p>
委員	<p>子育て支援センターの業務に携わっており、親の話を直接聞く。3歳までは自分でみてやりたくて、それから幼稚園に入れた。認定こども園だけが親のニーズではない。幼稚園は親の教育もする場所と思う。以前中学校区別の委員会とこの全体会議とは、情報交換しながら並行して進めていくという話だったと思うが、中学校区別の委員会の進捗状況はどうか。全体会議だけが先に進むと中学校区別の委員会との兼ね合いがあるのではないか。</p>
事務局	<p>中学校区別委員会は、現在、委員が決まったところはあるが、会議の開催までは至っていない。ただ、この全体会議は、指針など市全体のことを検討してもらいたく、連携は必要だが、議論を進めてもらいたい。</p>
委員	<p>現場の先生がもっと声を出さないと。幼稚園と保育所の先生がもっと交流して理解していかないと良いものが出てこないと思う。</p>
委員	<p>こども指針は、去年は教育委員会の説明では「今作成中であり、待ってもらいたい」だったと思うが、今から作成するのか。千種で色々出たことの質疑応答などを示してはどうか。今国で進められている総合こども園のこともあり、もっと先を見ておく必要があるのでは。</p>
事務局	<p>こども指針については、検討は進めていたが、今に至っている。今後はこの会議の中で検討していってもらいたい。</p>
委員	<p>会議の方向性として、部会に分けてそれから全体会へという手法が1つ。まだ早いということであれば課題をもっと具体的に出して、共通理解で部会へ進めていくか。</p>
委員	<p>まだ発言をされていない人もいるし、みんなの想いのようなものを書いてもらってはどうか。</p>
事務局	<p>課題については大きくは説明させてもらっているつもりである。事務局としては、全体会では意見も出しづらく、小集団のほうが意見が出しやすいと思うがどうか。</p>
委員	<p>こども指針、こども園の運営と市の関わり、教育保育をどうしていくのか、この3つの部会くらいを考えている。</p>
委員	<p>なぜ民なのかがクリアできていない。公立の認定こども園を見学にいったが、公立同士でも大変なのに、公と民がとなるともっと大変。教諭の派遣など課題はまだあるのでは。</p>
委員	<p>そこを運営の面でクリアしていけるのかを検討していかないと話が進んでいかない。</p>
委員	<p>推進計画の5Pの⑨について（民間でできるものは民間で…）は、クリアして先に進んでいくということか。はっきり言えば金がない、だからこれでいくんだというふうに捉えたのだが。</p>
委員	<p>お金がないという話ならそれをもっとはっきり出せばいい。だからこうしたいと言われればみんな分かると思う。</p>
事務局	<p>幼保一元化を推進していきたいというのが基本。民間がと言われるが社会福祉法人は営利的なものではない。ただ財政的なことも視野に入れて考えないといけない。良質な教育・保育を実現していくうえで、これが欠けているからこうしなさい、といった議論をいただきたい。</p>

委員 事務局	私の園は、有限会社で、社会福祉法人ではないが。社会福祉法人を基本として、ということで訂正をお願いしたい。(有限会社ということであれば)社会福祉法人になってもらうことも1つの手法であり、具体的には個別のことになると思うので協議させてほしい。
委員 事務局	先ほどの3つの部会くらいが人数的にもいいと思うのだがどうか。 ※専門部会の構成案を配付。
委員	部会と言うのは専門部会か。
委員	専門となると分かる人は分かるけど、さっぱり分からないこともあるのでは？
委員	ただ分かれるだけでは、再度、全体会議で議論するときにとまらない。
委員	平成21年8月の計画は変えてはいけないという議論か。地元と交渉した結果、うまくいかず、この会議が立ち上がった。計画を見直せならよく分かる。協議の結果、民間をやめて幼稚園を残せになるのか。
委員	問題解決されないまま、何を部会で検討するのか。
委員	今まで出てきた課題を出してもらって議論していると思っているが。計画に基づいて課題を解決していく議論だと。
委員	市は民でいきたい、民でいくなら、公立と同じようにするためにはどうやったらできるのか、それを議論してもらったらいいいのでは。子どもの数が少なくなってきたから1つにする、後は現場がつくっていく、そういうものじゃないのかな。委員が「民間はなし」と議決したらそれはそれなのでは。
委員	公立のほうがいい、で済むならそれで会議は終わってしまうと思う。今までこうやって進めてきた、そこでこんな問題が出た、その問題について議論したらいいのではないか。
委員	話は飛ぶかもしれないが、小中学校、高校で学力がばらけていると言われている。中学校は小学校からの連携、小学校は幼稚園、保育所からのつなぎ、小1プロブレムが問題になっている。ここでの議論は高校までの学力につながると思っている。
事務局	平成21年の計画を具現化するなかで色んな課題が出てきた。そういったことをきちんと説明していくためにこの委員会で議論をお願いしたい。就学前教育が大事な部分。親の働き方で通える施設が変わるのはおかしいというのがスタート。公立が良いのか私立が良いのかではなく子どものための議論を。私立、公立、保育所、幼稚園それぞれの歴史があり、それを越えて方向性を出し、そのためにどうすればいいかを考えていきたい。
委員	就学前教育という見えない財産についての住民と教育委員会の考え方が違うのでは。
事務局	そこも議論してもらいたい。入口の議論でつまづいている部分もある。
委員	質の高い教育、保育について会長から講義してもらってはどうか。
委員	何が質が高く何が低いのかは議論があるところだろう。ただ、そこは公が一定のところを保証していかないといけない。そのための仕組みづくりが必要。
委員	山田先生は、市の職員を派遣するとか、引き受けるとか市と協議されたことはあるのか。引き受けようという話までされているのか。
委員	今まで3回、民間保育所と市で協議の場をもっている。民間保育所としても公立の保育所、幼稚園に支えられている部分もある。運営の方法や支援策については市と話し合っている。引き受ける気持ちはある保育所もあると思う。
委員	質の向上や運営の仕方など、我々で検討できるものなのか。宍粟市で税の未納

委員	<p>者が増えていると聞いた。そういう現状があるなかで質などをひっくるめてと言われるがどうか。少子化は進むし、難しいところがある。</p>
委員	<p>状況はますます悪くなり、そういったところで市も急ぎたかったということだろう。民間で、という話のうえでどこを整理しないといけないのか、どうやったらいけるのか、いけるための条件を出していかないと議論が前に進まない。</p>
委員	<p>今日のところは3つに分けるというところでどうか。中身の課題はもう少しオープンにしておいて。</p> <p>どうですか。一応議題はこうなっているけれど、全体をそれぞれの部会でも話あってもらうということで進めていきましょう。</p> <p>今後は6月上旬から下旬、7月ぐらいで部会を、その後また全体会でという流れで。</p>

* 発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。